

令和6年度訪問型家庭教育支援推進事業 第3回専門講座

1. 日 時 令和6年12月4日(水) 10時から正午まで
2. 場 所 海南 nobinos 2階 ノビノスホール
3. 参加者 家庭教育支援関係者、子育て支援者、図書館職員、図書館ボランティア、保護者、園・学校関係者、保育士、社会教育関係者、行政関係者
地域でこどもに関わる活動をしている方 52名
4. テーマ 家庭教育支援とこどもの読書～うちどくのススメ～
5. 内 容

❖講 義

こどもと本をつなぐ～絵本の魅力・読み聞かせ～

講 師

和歌山県立図書館サービス課 副主査司書

坂 口 佐 知 子 氏

❖演 習

❖講 義『読み聞かせをしてみよう』

- 1) 読み聞かせの前に～「状況の整理と把握をすることが大事です。」

いつ?・・・季節や時間 など

どこで?・・・学校や図書館 など

なぜ?・・・理由や目的

だれが?・・・司書やボランティア など

何を?・・・お話の内容

どのように?・・・本や紙芝居 など



- 2) 読み聞かせの前に～「絵本を選び、準備しましょう。」

- ・絵本の大きさはどうですか? ・よく見える絵で描かれていますか?
- ・絵と文があっていますか? ・開いたページに場面がいくつありますか?



- ・下読みをしましょう。
- ・新しい本には開き癖をつけましょう。



- ・読み聞かせをする場所を設定して、こどもたちを絵本が見える位置に集めます。



3) 読み聞かせを始める～「実演の仕方を知りましょう。」

絵本を持つ高さ

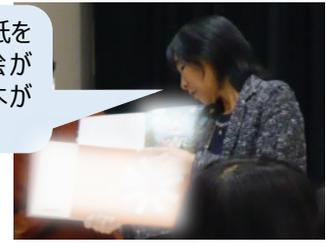


絵本の持ち方

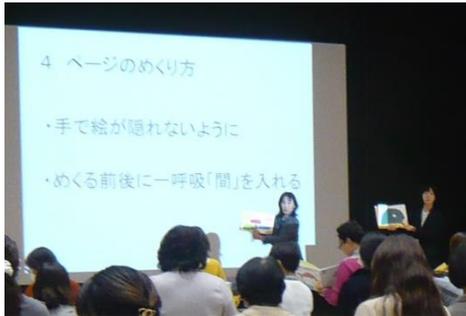


絵本は全部見せる

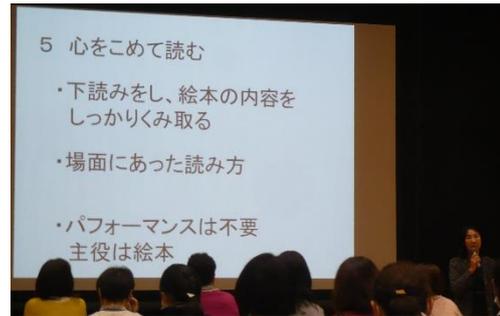
表紙と裏表紙を
広げると、絵が
つながる絵本が
あります。



ページのめくり方



心をこめて読む



4) 読み聞かせで世界を広げる～「科学絵本読み聞かせも面白いです。」



やった！



読み聞かせの後で
子どもたちと実験し
てみましょう。

うまくいくでしょうか
…。



サーカス、成功する
かな…。



大 成 功 ！



『しろいかみのサーカス』(たにうちつねお/さく いちかわかつひろ/しゃしん) や、『びっくり まつぼっくり』(多田多恵子/ぶん 堀川理万子/絵) の絵本を紹介しました。子どもたちが「もっとくわしくしりたい！」と次のステップへつなげるきっかけにできるように、読み聞かせの時に関連本を用意しておくことはよいですね。

◆参加者の感想

- 前回の復習もしていただきながら改めて大切なことを聞かせていただき、本当に身になる内容でありがたかったです。実践できる内容と読み聞かせをする上で大切なこともしっかりと胸に落とすことができました。
- 読み聞かせの基本、手順を教えていただいても勉強になりました。わかりやすい講義でした。こどもも大きくなりなかなか絵本に親しむ機会がなかったのですが、改めて絵本の良さを知った気がします。
- 本を読み聞かせする高さ、位置について勉強になりました。ホールで読み聞かせをする時、こどもたちは床に座っていて読み手の私は立っていたりしました。イスに座ればよいのかと発見でした。また、科学絵本の読み聞かせも大変勉強になりました。
- 今日は心暖まる講義をありがとうございました。私は声にあまり自信がないので、声で演じるやり方ではなくて、「大きな声↔小さな声」「高い声↔低い声」「ゆっくり↔はやく」で表現できるのだと聞いてなるほどと思い、これから読み聞かせの機会があればそれで練習してみようと思いました。
- 読み聞かせの細かい注意ポイントを分かりやすくご指導いただき、すぐに実践できても勉強になりました。声色を変えず、読み手が必死になり本を上向けて寝かせがち…など、今日学んだことを生かし読み聞かせをしていきたいです。
- 過度に表現しすぎず、季節感等 5 W 1 H を意識して絵本探しをしてみたいと思います。『びっくり まつぼっくり』は、やってみたい気持ちから実践する行動に続くところがとてもみりよかつぶりな一冊だと感じました。私もビンとまつぼっくりと本を用意して読み聞かせをしてみたいと思います。
- 読み聞かせも「読むだけ」ですがとても奥が深い。「読むだけ」ではないですね。坂口先生の声も聞きやすくして流石だなと思いました。姿勢も大切ですね。「きたえなきゃ、読み聞かせ筋」と思いました。とても勉強になりました。

❖演習『読み聞かせをしてみよう』～各自が思いを込めて選んだ一冊を味わう





グループで出された疑問について、坂口先生に丁寧に教えていただきました。



グループだけでなく、参加者全員で絵本の情報交換もしました。



◆参加者の感想

- 立場が違う4人で、持って来た絵本もバラバラでおもしろかったです。未就学児にはむずかしい内容の絵本でも、いつか子どもたちが生きていく上での糧になるであろう本、子どもの想像が広がる本、と色々でした。人前で絵本を読む事が今までなかったのですが、もし読む機会があれば読んでみたいと思いました。
- 実際に実践ができてよかった。聞いてすぐに実行するというのが身に付いてくると思います。あと、他人の読み聞かせが体験できたので、良い所などを知る機会になった。
- みなさんの絵本が楽しくて夢中になってしまいました。大人でも読み聞かせ、大事だと感じています。声のトーンでも変化できることを知ることができてよかったです。楽しかったです。この楽しさを伝えていきたいと思います。
- 初めての読み聞かせでしたが、難しさを痛感しました。でも、坂口先生の楽しむという言葉ですごく気持ちが楽に読むことができました。みなさんの読み聞かせを聞くことが出来、とても嬉しい気持ちになりました。
- とても勉強になりました。演習はとてもよかったです。読み聞かせをしている時に、言葉の意味を説明せずに読むことが大事だということを知ることができました。子どもたちはまだ幼いので、言葉の意味がわからずに聞いていると思ってついつい説明しがちになるのですが、それは今後しないように努めたいと思いました。
- 読んでいると本が前に出てしまっていたので、しっかり後ろから親指を立てて寝てしまわないように実践してみたいと思いました。（思っていたよりも寝てました。）読み手によって、声や表現が違い、可愛い声、おどろくことを表現する声、聞きたくなる読み方が幅広くて、とても勉強になりました。
- 小グループで1人ずつ読み聞かせ実演だったので、他の方たちの本、読み方、間などとても楽しく良い学びになりました。自分の読み方も良い所、注意したらもっと良いところを教えて頂け、学びになりました。「間」に気を付けて読んでみます。

❖まとめにかえて～図書館司書としての思い

- 『ねずみくんのチョコッキ』（なかえよしを/作 上野紀子/絵）

の普通絵本と大型絵本を読みくらべてみましょう。まず、**見開きの向きが違います。縦書きと横書きの違いがあるので、ページをめくる方向も違います。**そして、大型絵本では**ページ左端に次に出てくる動物が覗いています。**子どもが手にとって楽しく読むことができるよう普通絵本のサイズで作られたものを、大勢の人数で楽しむことができるように作られたのが大型絵本です。

子どもたちに絵本の魅力を届けるため、自分自身が生き生きと、読み聞かせを楽しんでほしいと思います。

私の好きな宮沢賢治のこぼれ話を、メッセージとして最後にみなさんに贈ります。



◆参加者の感想

- 「すきとおった、ほんとうのたべもの」のこぼれ話、心に刺さりました。

